

商品を選んで購入する際の観点を明確にし、
環境に配慮した消費の仕方があることを理解できます。
(学習ノート p 29・30 を利用して)

消費生活と環境について考えよう

(6時間扱い)

1 どの洗濯用洗剤を買いますか？ *1 学習カードを使って

- (1) 洗濯用洗剤を数種類（合成洗剤、複合せっけん、せっけんの3種類が必ず含まれるようにする）提示し、第一印象（見た目のみ）で買いたい商品を1つ選ぶ。
- (2) 実際に商品を手に取り、比較をする。（値段のほか、品質表示を見て原料や内容量、パッケージに書かれている言葉等、自由にメモをとる。）そうした上で、もう一度買いたい商品を1つ選ぶ。
- (3) (2) で選んだ商品とその理由を発表する。学習カードに商品を選ぶ際の観点をまとめながら、それぞれの違いを整理する。
- (4) 合成洗剤と石けんの違いを知る。
 - ・「ハンドブック 家庭分野 p 49」を読み、原料の違いを確認する。
 - ・*2 つまみ菜の発芽実験 を見て、結果を比較する。
 - ・*3 微生物による分解度の実験 を見て、結果を比較する。
- (5) 最終的に、買いたい商品を1つ選ぶ。
- (6) 今後の生活に生かせそうなことをまとめ、発表をする。

2 わたしたちにできることは何だろう？ 学習ノート p 29・30 を使って

- (1) 消費に関するこれまでの自分の姿を振り返るため、学習ノート p 29 の「環境を考えて商品を選んだり、生活をしているか、診断してみよう。」をやる。
- (2) 生活の3Rについてふれながら、学習ノート p 29 の「リサイクルについて調べてみよう・考えてみよう。」をやる。
- (3) p 30 の「グリーンコンシューマー」について読み、言葉の意味を理解する。そうした上で、「わたしができるグリーンコンシューマー」をやる。*4 グリーンコンシューマー記入例

3 マイ・エコバッグを製作しよう *5 エコバッグの型紙と作り方

ハンカチを2枚用意し、エコバッグを製作する。ミシンを使うと早いですが、手縫いでもよい。素材も、古い傘の布を使うと防水になり、食品を入れるのに適したバッグとなる。

★ あなたなら、どの洗濯用洗剤を買いますか？

<第一印象で選ぼう>

を買う。理由は、

だから。

<じっくりと選ぼう>

を買う。理由は

だから。

メモ

選ぶ際の 観点 洗剤名						
①						
②						
③						
④						
⑤						
⑥						

<ファイナルアンサー>

を買う。理由は

だから。

これからの生活に生かせそうなことをまとめてみよう。

<*2 つまみ菜の実験>

せっけんや合成洗剤が、植物の発芽や成長に及ぼす影響を調べるための実験です。

つまみ菜の種に、水、せっけん液、合成洗剤液の3種類を与え、発芽する様子やその後の成長を観察します。

【実験開始から5日後の様子】

水	
せっけん液 (純せっけん成分を33%含んだものを 20倍に薄めて使用)	
合成洗剤液 (界面活性剤を44%含んだものを 20倍に薄めて使用)	

結果

水とせっけん液で発芽させたつまみ菜は、日に日に葉を増やして成長をしますが、合成洗剤で発芽させたつまみ菜は、あまり成長せず、最終的には枯れてしまいました。

<*3 微生物による分解度の実験>

- ①テスト液をつくる。(水に土を入れ、よく振り、ろ紙でこす。)
- ②テスト液を2つの容器に分け、それぞれにせっけんと合成洗剤を加えてよく振る。
- ③1週間後、もう一度よく振り、1週間前との泡の立ち方を比較する。

	せっけん入り (純せっけん成分を33%含んだもの)	合成洗剤入り (界面活性剤を44%含んだもの)
②		
③		

結果

- ②では、いずれもよく泡が立ちます。
- ③では、せっけん入りテスト液は、振り終わった直後に泡が消えてしまうのに対し、合成洗剤入りテスト液はほとんど変化していません。
- この実験からわかることは、土の中のバクテリアにより、せっけんは分解されますが、合成洗剤は分解されにくいということです。

<＊４ グリーンコンシューマー記入例 学習ノートP30>

わたしができる「グリーン・コンシューマー」

キャンプへ行き、カレーを作ることになりました。グリーン・コンシューマーになったあなたがカレーを作るときに、どのような行動をしたらよいか考えてみよう。

1 材料を準備する段階では

- ・必要な物、必要な量を買う。
- ・容器や包装の少ない商品を選ぶ。
- ・レジ袋を持参する。

2 調理するとき

- ・できる限りごみがでないように、家で下ごしらえしていく。
- ・野菜の皮なども調理して食べられるようにする。
- ・食べきれる量を考えて作る。
- ・作る手順を考え、火を効率よく使う。
- ・まな板の代わりに牛乳パックを切り開いたものを使うと、洗い物が少なくなるほか、使い終わったあと火種となる。

3 食べるとき

- ・残さないように食べる。
- ・使い捨ての食器ではなく、再利用できる食器を使う。

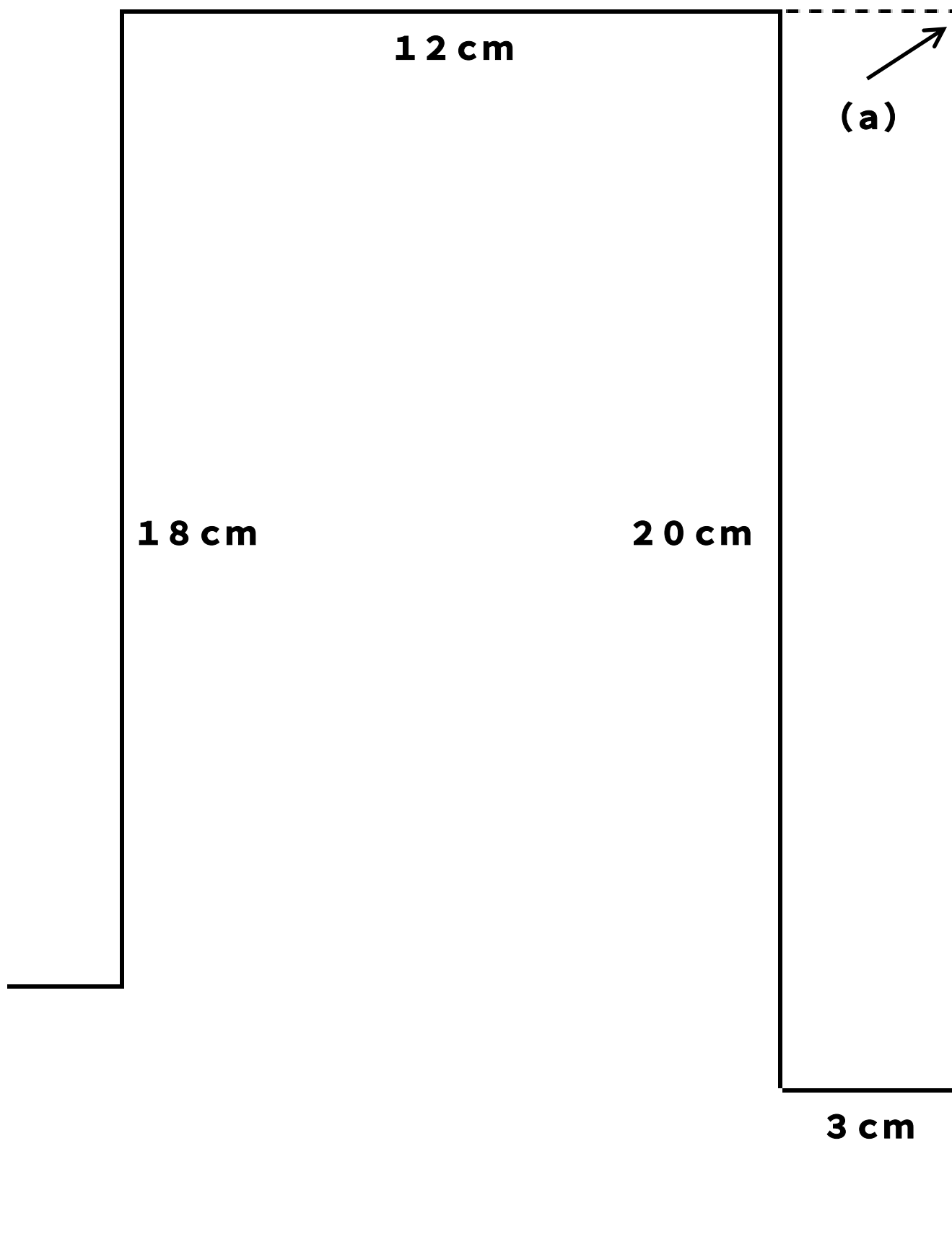
4 後かたづけをするとき

- ・古紙で食器の汚れをふきとってから洗う。できればその場で洗わず、家に持ち帰って洗うとよい。
- ・油っぽいものと油っぽくないものを分け、洗う順番を考えて洗う。(油っぽくないもの→油っぽいものの順に洗う。)
- ・洗剤は、適正な量を使用する。できれば使用しない。
- ・洗剤は、合成洗剤ではなく、天然油脂からできている石けんを使用する。

5 ごみを出すとき

- ・ごみは基本的に持ち帰る。
- ・生ごみは水をよく切ってから捨てる。
- ・キャンプ場のごみの出し方にしがたい、分別をきちんとする。
- ・缶やビンはリサイクルに回す。

<*5 エコバッグ型紙と作り方>



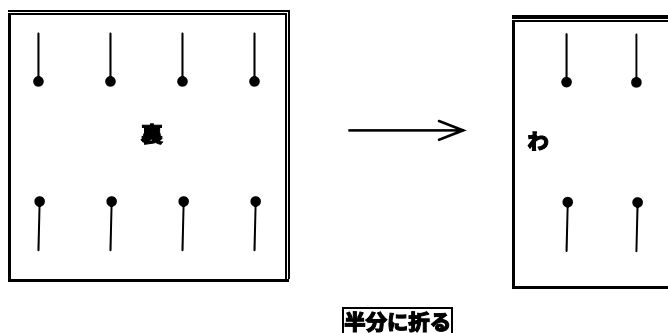
布を再利用したエコバッグ

【材 料】布（50～60cmの正方形）2枚 … シーツ、服、かさ等

いらない布を縫い合わせてパッチワークしてもよい

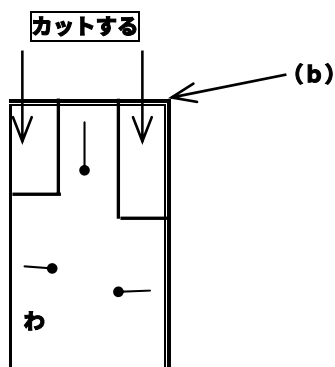
【作り方】① 布2枚を中表に合わせ、まち針でとめる（8ヶ所）。

② ①を半分に折る。



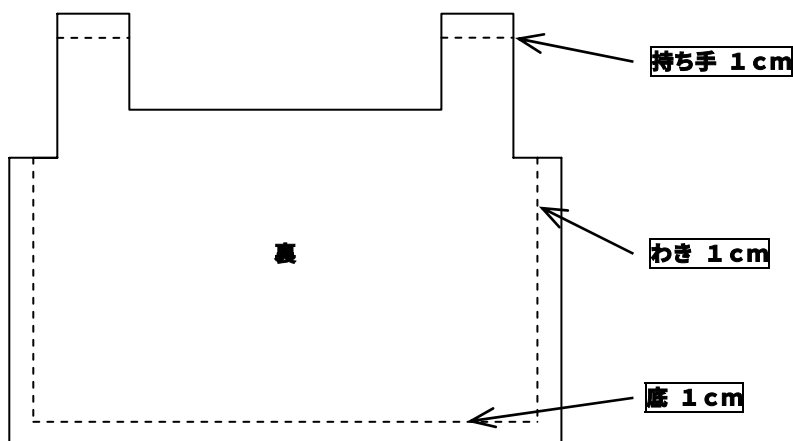
③ 型紙の角（a）と布の角（b）の位置を合わせ、まち針でとめる。

④ 布を型紙に合わせて4枚重ねたまま裁断する。

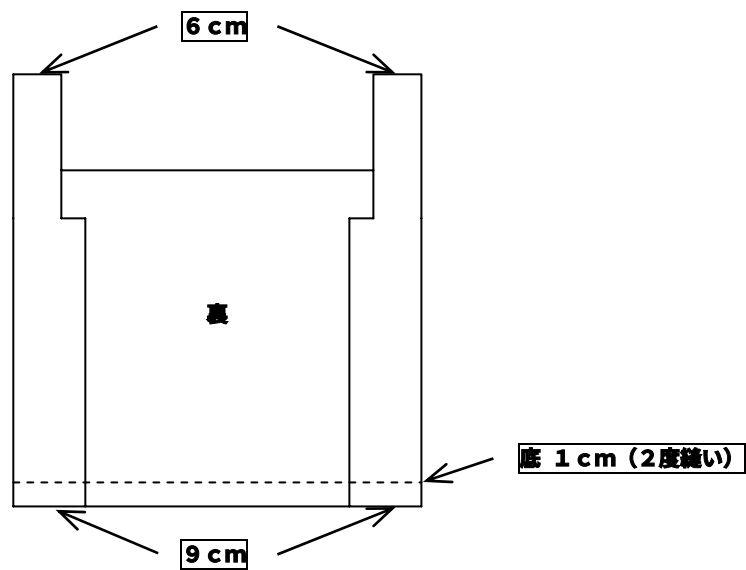


⑤ 持ち手を縫う。縫いしろは割る。

⑥ わきと底を縫う。



- ⑦ 持ち手の巾が半分（6 cm）になるように、内側にたおす。
- ⑧ 補強のため、底をもう一度縫う。



- ⑨ 入れ口と持ち手口の布端の始末をする。布端から1 cmのところをぐるりと縫うだけでもよいが、丁寧な場合はさらに縫い目で内側にたおし、端から5 mmにステッチをかける。
- ⑩ 表に返し、アイロンで形を整える。